

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21 48	一人ひとりの利用者様に対する役割や関わりにおいて、その人の希望や特性などに配慮して支援を行ってはいるが、時に役割が重なってしまうことにより、意欲の減退や利用者様同士の関係性が円満にいかないことがある。	それぞれの役割や仕事に対して、意欲的であり共に生活する仲間として協力しながら行え、張り合いや喜びのある生活が送れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う利用者様やその時の状況に配慮しながら役割や仕事の声掛けを行うように努める。 ・新たにご利用者の役割や仕事を増やしていく。 ・個別に気分転換や楽しめる支援を行っていく。 	12ヶ月
2	38	これまでの生活スタイルや自身のペースで同じように暮すことは難しく、共同生活である以上は何らかの縛りや制限が生じてくる。しかしその中であってもその人らしく生活していくためにはどのように支援していったらいいのか。	ここでの生活がさらに「生きる糧」になるよう、人との関わりや役割を通して、まだやれるという意欲を持ち続けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・『してあげる支援』ではなく『やってもらえる支援』を重視し、ご利用者の自信に繋げる ・地域や家族との交流を図り、社会との接点を増やし外部からの刺激も活用する。 ・担当者が中心となってその人の希望や夢を実現していく。 	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。